

法蔵館書店ニュース 12月

目次

話題の本	P1	特集1: 法蔵館2025年新刊一覧	P14~16
法蔵館新刊案内	P2~5	特集2: 2025年各賞受賞書籍のご紹介	P17
法蔵館重版案内	P6	特集3: マハーバーラタを10倍楽しく読むために	P18~19
法蔵館刊行予定案内	P6~7	法蔵館書店ベスト10・	
法蔵館書店新着案内	P8~13	メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★12、2026年1月の書店休業日

12月のお休み: 7日・14日・21日

1月のお休み: 11日・18日・25日

年末年始のお休み: 27日(土)~1/4日(日)まで。

※26日(金)は12:00まで営業

話題の本

- 静岡新聞[朝刊] (2025/11/11)
- 日本経済新聞[朝刊] (2025/11/11)
- 毎日新聞[朝刊] (2025/11/11)ほか多数

第42回 サントリー学芸賞 受賞

第34回 日本山岳修験学会賞 受賞

『比婆荒神神楽の社会史』

一歴史のなかの神楽太夫』

鈴木昂太・A5判・496頁・7,700円

ISBN: 978-4-8318-6292-1

- 本願寺新報 (2025/11/10)

『大乘仏教がひらいた 妙好人の世界』

菊藤明道著・A5判・416頁・4,950円

ISBN: 978-4-8318-2356-4

- 読売新聞[朝刊] (2025/11/9)

- 静岡新聞[朝刊] (2025/11/9)

- 琉球新報[朝刊] (2025/11/2)

- 秋田魁新報[朝刊] (2025/11/1)

法蔵館文庫 『催眠術の日本近代』

一柳廣孝著・文庫判・272頁・1,210円

ISBN: 978-4-8318-2707-4

- 河北新報 (2025/11/9)

『続高僧伝とアジアの仏教文化』

一名取新宮寺一切経本の調査から』

齋藤智寛・新宮寺本『続高僧伝』研究会編

四六判・364頁・4,950円・ISBN: 978-4-8318-5733-0

- 中外日報 (2025/11/7)

『増訂 日本占領と宗教改革』

岡崎匡史著・A5判・540頁・8,250円

ISBN: 978-4-8318-5587-9

- 中外日報 (2025/11/7)

『生きる ただ生きる それで良し』

大塚日正著・四六判・240頁・1,650円

ISBN: 978-4-8318-5739-2

- 朝日新聞[夕刊] (2025/11/4)

第37回 國華賞 受賞

『奈良・平安彫刻の文化史的研究』

井上一稔著・A5判・860頁・24,200円

ISBN: 978-4-8318-6334-8

- 中日・東京新聞[朝刊] (2025/11/2)

『統一教会・現役二世信者たちの声』

一壁の向こうの言葉を聴く』

瓜生 崇著・四六判・244頁・1,980円

ISBN: 978-4-8318-5729-3

- 月刊住職 11月号 (2025/11/1)

『日本浄土思想の歴史』

一円仁・源信・法然・親鸞』

四夷法顕著・四六判・182頁・2,200円

ISBN: 978-4-8318-5590-9

- デ アルテ 41号 (2025/11)

[筑紫女学園大学人間文化研究所叢書3]

『九州真宗の社会と文化』

中川正法・小林知美・岡村喜史編・A5判・640頁

7,700円・ISBN: 978-4-8318-7928-8

- 日本思想史学 第57号 (2025/10/27)

『近代日本の仏教思想と〈信仰〉』

呉 佩遥著・四六判・264頁・3,300円

ISBN: 978-4-8318-5588-6

法蔵館文庫

◆原典訳 マハーバーラタ 2

【インド古典】

上村勝彦訳・文庫判・496頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2714-2

ドゥルヨーダナに仕組まれた賭博に負け、十三年の国外追放となったパーンダヴァ五王子。復讐の誓いを胸に、放浪の旅へ出立する。

■目次

- 第1巻 最初の巻(アーディ・パルヴァン)続き
(9)ヒディンバ殺し(第百三十九章―第百四十四章)
(10)バカ殺し(第百四十五章―第百五十二章)
(11)チトララタ(第百五十三章―第百七十三章)
(12)ドラウパディーの婿選び式
(第百七十四章―第百八十五章) ほか

ためし読み



◆日本人の阿弥陀信仰

【日本仏教史】

伊藤唯眞著・文庫判・352頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2721-0

阿弥陀信仰の教義・歴史・文化・民俗的展開を多角的に考察。古代～中世にかけての変遷、念仏実践、文学・美術・儀礼への広がりを描く。

■目次

- 第一章 阿弥陀信仰序説
第二章 わが国初期の阿弥陀信仰
第三章 念仏の興隆
第四章 『往生要集』―厭穢欣淨の世界―
第五章 阿弥陀の聖 ほか

ためし読み



◆『歎異抄』成立の謎

【真宗／文学】

塩谷菊美著・四六判・336頁・3,300円・ISBN978-4-8318-6075-0

「『歎異抄』には親鸞の言葉が記されている」という常識は正しいのか。常識を離れたときに見えてくる『歎異抄』成立の真相に迫る。

■目次

- 1 『歎異抄』という親鸞伝
2 法然系諸流の中で
3 『歎異抄』の文体
4 穢土に顕現する如来
5 生き如来信仰の変質 ほか

ためし読み



◆ひとりふたり・・——お正月を迎える

松本智量編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1177-6

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

【真宗／仏教】

定期購読
受付中!

ためし読み



身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け! 買い忘れなく安心です!

詳しくは、法藏館書店まで。



獅子奮迅

ししうん

《目次》 ●は新コーナー

◎いのちの言葉 暑すぎた夏 …………… 熊谷伸一郎

◎お寺de掲示板
未来を思い描くことで今の生き方が変わります…… 小林尚樹

●暮らしの中の仏教語 獅子奮迅 …………… 戸次顕彰

●正木晃先生の日本仏教入門 …………… 正木 晃

●きょうも一品、精進料理(冬) 精進ハンバーグ …………… 青江覚峰

◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガー健やかな身体を保つ技一 …………… Yai

◎このお経ってどんな意味? 讃仏偈(嘆仏偈)⑨ …………… 三浦真証



◆仏教伝来——朝鮮仏教史への入門

福士慈稔著・四六判・168頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-5591-6

インドでの仏教誕生から中国・朝鮮半島への仏教伝播の歴史を分かりやすく解説した様々な時代や地域にわたる東アジア仏教史の入門書。

■目次

I インド編

第一講 釈尊の略伝と仏舎利のこと

第二講 結集と経典のこと

第三講 仏教の区分と仏教伝播

第四講 大乘仏教の興起と展開

第五講 インドにおける仏教美術の展開

第六講 インドにおける仏教衰退 …… ほか

ためし読み



【仏教史／朝鮮史】



◆新装版 教行信証 中 シリーズ仏典をひろく

【真宗】

桐溪順忍著・四六判・352頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6704-9

真宗の根本聖典である『教行信証』を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。中巻では、信巻・証巻を解説。

■目次

信巻

別序

信文類

大信を明かす

問答して解釈する

三心の解釈を結ぶ

特に信楽を解釈する(別釈信楽) ほか

ためし読み



ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集第22号

【歴史／史料】

◆論集 東大寺東南院と南都仏教の展開

GBS実行委員会編・A4判・104頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-0722-9

三論宗の本所で真言宗も兼学する東大寺東南院での修学の具体相やその広がり状況等、近年の三論教学への関心の高まりに応える一冊。

■目次

基調講演 東大寺東南院と三論宗(永村 眞)

[令和六年度GBS 堅義会勤修記録]

真言宗と三論宗の兼学(田戸大智)

東大寺東南院における真言教学の形成と伝播(藤井雅子)

聖宝と醍醐寺の仏(副島弘道)

全体討論会「東大寺東南院と南都仏教の展開」

ためし読み



◆神楽の文化史

【民俗／文化史】

鈴木正崇著・四六判・514頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-5743-9

民俗学・宗教学・芸能史・演劇史という学問的枠組みを超えて、神楽の継承に携わる全ての人に向けて、神楽とは何だったのかを問う。

■目次

第一章 伝承を持続させるものとは何か

第二章 神楽の中の巫者

第三章 大元神楽の変容

第四章 湯立神楽の意味と機能

第五章 神楽の近代

第六章 目連の系譜

第七章 「民俗藝術」の発見

第八章 神楽研究の再構築へ向けて ほか

ためし読み



◆般若心経秘鍵の研究

【仏教】

米田弘仁著・A5判・608頁・15,950円・ISBN:978-4-8318-6337-9

『般若心経』の陀羅尼を、空海はいかにして法身説法の理論の中に位置付けたのか。漢文学的手法で『般若心経秘鍵』の真意に迫る。

■目次

【第一部 訓読訳注篇】

題額・撰号

序 分

帰敬序

発起序

大綱序

大意序

正宗分

釈 名

入文判釈

問答決疑

流通分

上表文

【第二部 研究篇】

一 『般若心経秘鍵』撰述の動機とその背景

二 本研究の趣旨 ほか

ためし読み



◆柳田国男と大正期の神道

【思想史】

渡 勇輝著・四六判・314頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5740-8

「神道私見」を軸に、柳田国男の思想や学問の形成過程を大正期の学知ネットワークから照射。近代神道史の文脈に位置付ける画期的書。

■目次

序章 研究史と本書の課題

第一部 柳田国男と「大正期」の神道

第一章 近代神道史のなかの「神道私見論争」

第二章 「神道私見」の形成過程

第三章 「民俗学」と「神道学」

補論一 柳田国男の読者たち

第二部 柳田国男の学知ネットワーク ほか

ためし読み



◆声明理論の形成過程——平安・鎌倉期を中心に

【音楽史／仏教】

澤田篤子著・A5判・462頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-6074-3

日本最古の声・声明の理論として展開し、中世の諸声楽の旋律生成に大きな影響を与えてきた声明の音楽理論の形成過程を解明。

■目次

第一章 安然とその著作

第二章 安然における音・声

第三章 『悉曇藏』以後『声明用心集』以前における

音律論・旋律論

第四章 湛智とその著作

第五章 湛智の声明理論と声明観

第六章 湛智以降の音律論・旋律論 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆仏教の声の技——悟りの身体性

大内 典著・A5判・310頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6232-7

声明、真言念誦、念仏など様々な仏教の声の技は、どんな教理と救いのシステムを構築したか。身体の実践的力を考究した画期的試み。

■目次

- 第一章 初期天台における即身成仏論と身体
- 第二章 四種三昧の展開
- 第三章 観行としての声明—法華懺法にみるその美的表現力と権能
- 第四章 密教における声の技法—?安然の「声」論から
- 第五章 念誦と成仏 ほか

《2刷》【仏教】



法蔵館刊行予定案内

〈2026年1月 刊行予定〉

◆原典訳 マハーバーラタ 3 法蔵館文庫

上村勝彦訳・文庫判・568頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-2715-9

【インド古典】

十三年の国外追放となったパーンダヴァ五王子。多くの試練に立ち向かい、先人たちの物語に耳を傾けながら大森林で時を過ごす。

◆『維摩経』を読む 法蔵館文庫

長尾雅人著、桂 紹隆解説・文庫判・312頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2722-7

【仏教】

在家の仏教信者である維摩詰を主人公とし、大乘仏教の根本思想である「空」を明らかにした『維摩経』を、仏典研究の泰斗が分かりやすく解説する恰好の入門書。

◆幕末旅役者歩兵隊

野口武彦著・四六判・246頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-5738-5

【歴史／文芸】

慶喜逃亡・大坂城炎上、途方にくれた歩兵たちは、旅役者に扮し歌舞伎を演じながら、江戸帰還をめざす! サントリー学芸賞を受賞した学者による異色の幕末歴史小説。

◆祇園祭と牛頭天王

【歴史／民俗】

八木 透・斎藤英喜編・四六判・224頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-5741-5

山鉾、神輿、牛頭天王伝説。いまだ全貌が謎に満ちた千年にわたる祇園祭について、これまで顧みられることのなかったマイナーな部分に焦点をあて深掘りする注目書。

◆禅と念仏

——昭和の名僧 森本省念の禅

北野大雲著・四六判・140頁・予2,640円・ISBN:978-4-8318-5161-3

【禅／真宗】

念仏がわからない禅は本物ではない。西田幾多郎の愛弟子にして長岡禅塾二世・森本省念。蜂屋賢喜代や曾我量深など真宗人と交流し、浄土教へと伸びた禅の核心に迫る。

シリーズ仏典をひらく

◆新装版 教行信証 下

桐溪順忍著・四六判・322頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6705-6

【真宗】

真宗の根本聖典である『教行信証』を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。全4巻の復刊第3巻目。真仏土巻の組織はどうなっているか、ほか。

◆東大寺統要録一 東大寺叢書 4

東大寺研究所編・A4判・378頁・33,000円・ISBN:978-4-8318-5204-5

【歴史／史料】

東大寺叢書第2期刊行開始！中世東大寺研究上の重要史料、東大寺本『東大寺統要録』全九巻のうち、巻第一（造仏篇）から巻第五（仏法篇）までのフルカラー影印版を収録。

◆近代日本国家と天理教の時局対応

金子 昭著・A5判・320頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-5744-6

【近代史／宗教】

近代日本の時局に対する教団の応答を追究。明治末期から戦後再建期までの言説・方策・実践を分析し、宗教と国家の緊張と共鳴を描く。

◆海神と霊性

秋道智彌著・四六判・336頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5745-3

【人類学／民俗学】

海神信仰を軸に、日本・東アジア・オセアニアの神話・思想・民俗等を横断的に考察。漂着物、船霊、媽祖、龍宮など多様な素材を読み解き、人類の精神史を海から構築する。

◆新仏教教団を学ぶ

島藺 進・金澤 豊編・四六判・224頁・1,860円・ISBN:978-4-8318-5737-8

【仏教】

在家が担い手となった「新仏教」とは何か。孝道教団・立正佼成会・真如苑の講演と対話から立体的に紹介。近代日本に生まれた仏教の新潮流を捉え、日本仏教の現在を照らす。

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 12月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・440円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー 古澤裕介(俳優)
大虐殺に抗うノイズとして、自分の身体を存在させたい。
- ◎特集:異なりを生きあう翻訳
- ・古写真でつづる東本願寺
- ・仏事作法のひとつま……近松 誉 ほか

◆大乘 12月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・DAIJO法話「愚痴にかえる」……西村慶哉
- ・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました「駐車場」……前田純代
- ・なるほど仏教ライフ「女子大学宣言」……星 顕雄
- ・つながる医療と仏教……佐々木恵雲 ほか

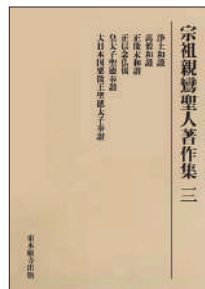
法蔵館書店新着案内

◆宗祖親鸞聖人著作集 三

——浄土和讃・高僧和讃・正像末和讃・正信念仏偈・
皇太子聖徳奉讃・大日本国粟散王聖徳太子奉讃

聖教編纂室編・A5判・459頁・4,950円〈東本願寺出版〉

宗祖親鸞聖人撰述の和讃をはじめとした聖教(『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』『正信念仏偈』『皇太子聖徳奉讃』『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』)の翻刻を収載。原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキスト。



◆一冊でわかる 仏教とお寺

——「仏さまの教え」「寺院という場所」を読み解く

武光 誠著・四六判・220頁・1,760円〈河出書房新社〉

仏教の「全体像」と、教えの「核心」をわかりやすく解説。歴史・経典・宗派・儀式・寺院・仏像……の基礎知識が満載。私たちの生活に今も深く根づいている仏教の知恵に、あらためて驚かされる!

※「日本人なら知っておきたい仏教とお寺」(2007年刊)の改題、大幅に加筆・修正し、再構成



宝島社新書726

◆誰が「お寺」を殺すのか

——貧困化する寺院と多様化する葬儀ビジネスの裏側

小川寛大著・新書判・214頁・1,100円〈宝島社〉

多死社会を迎え、葬儀の数は右肩上がりが増えていくことが予想されているのだが、お坊さんたちの存在感は低くなる一方である。葬儀業者にお葬式の主導権を奪われ、葬式の簡素化・低価格化で最大の収入源である「お布施」のデフレ化も止まらない。葬儀ビジネスと仏教界の裏側を宗教専門誌編集長がレポート。



◆弔いの値段

——葬式、墓、法事……いくら払うのが正解か？

鶴岡秀徳・大久保 潤著・四六判・206頁・1,650円〈講談社〉

多死社会を迎えた令和の葬式&墓問題。利用者の疑問や不満・不安に、ジャーナリストであり現役住職が答える弔いの現場のリアルな声。葬式、墓、法事……弔いにまつわる常識・非常識、誰も避けて通ることができない弔いについて聞きたくても聞けなかった実情を知ることができる一冊。



ちくま学芸文庫タ-344

◆仏教土着——その歴史と民俗

高取正男著・文庫判・263頁・1,320円〈筑摩書房〉

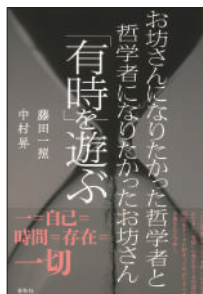
日本仏教の異端である薩摩のカヤカベ教が伝える親鸞のミイラ言説や、湯殿山の即身仏ミイラ信仰などに注目。そこから逆に照射される日本仏教の「正統」と、その正統に同化されなかった日本仏教の「影」の信仰とを対比させることで、仏教土着の一方で日本人が持ち続けた民俗信仰の問題を掘り下げて考察する。解説＝阿満利磨



◆お坊さんになりたかった哲学者と哲学者になりたかったお坊さん「有時」を遊ぶ

藤田一照・中村 昇著・四六判・279頁・2,530円〈春秋社〉

『正法眼蔵』のなかでも特に関心を集めてきた「有時」の巻について、曹洞宗の僧侶と『正法眼蔵』を読むために今まで哲学を研究してきた(?)哲学者が対談。第1部では『正法眼蔵』との出会いなどについて対談し、第2部では実際に「有時」の巻を読んでいく。



仏教する日本 I

◆見えるものと見えざるもの

松岡正剛・福家俊彦・末木文美士著・四六判・320頁・2,750円〈春秋社〉

日常の世界〈顕〉と神仏の世界〈冥〉の関係や最澄の大乗戒、草木成仏説、鎌倉仏教の見直しなど、仏教を通して日本の多様性を語るための空前絶後の仏教講義・前編。



◆満月交命 ムーンサルトレター

鎌田東二・一条真也著・四六判・779頁・4,400円〈現代書林〉

バク転神道ソングライターこと宗教哲学者・鎌田東二と儀礼文化イノベーターこと作家・一条真也が、満月の夜に交わした往復書簡第四弾(2020年5月7日:第181信から、2025年2月27日:第240信までを収録)、20年間という奇跡の交流!そして……2025年5月30日、鎌田東二逝去。二人の交流は244信で終了。最後のやりとりも収録、巻末に鎌田東二の遺作『日本人の死生観』(I) (II)について7万字に及ぶ一条真也の書き下ろし書評の全文を追悼文として掲載。



◆「ありがとう」と気づくとき

高田未明著・B6判・70頁・990円〈自照社〉

自らの手柄を求めるばかりで、自分を立たせている大地に気づかず迷いを重ねるわたしを見かねて、「南無阿弥陀仏」のお念仏を与え、「われにまかせよ、必ず救う」とはるかの昔からはたらきどおしの阿弥陀さまの大悲を仰ぐ読み切り法話14篇。



◆古代の神祇祭祀と大阪の神社

西宮秀紀著・A5判・434頁・15,400円〈塙書房〉

前著『律令国家と神祇祭祀制度の研究』刊行後に深化させた神祇祭祀論を収録し、神への捧げ物や神宝・幣物、巫覡・ハラエを考察、また住吉神社や坐摩神社などを検討する。



◆国家神道と天皇制——憲法・君主制・宗教

島蘭 進編著・江藤祥平・梅川正美・矢野秀武・小島 毅・原 武史・
駒村圭吾・松平徳仁著・四六判・407頁・3,080円〈東洋経済新報社〉

憲法学、政治学、宗教学、思想史など第一線の研究者が結集。現代日本に、いまだ影響を及ぼす「国家神道」と、「天皇制」の論点とは。戦後の平和憲法下で「信教の自由」「政教分離」が保障されながらも、しばしば神道儀礼の国家的意義が問われる天皇制を、君主制の歴史という視点から捉え返す。



◆一休、胡乱を生きる

——『一休和尚年譜』を読む

芳澤勝弘著・A5判・407頁・11,000円〈思文閣出版〉

一休研究の基礎史料である『一休和尚年譜』の詳細な訳注に加え、『狂雲集』『自戒集』、墨跡や同時代の古記録を駆使し、一休の生涯を時代の中に位置づける。京の都で万単位の僧侶が武装して主張を展開し、放火や殺人が横行する異常な社会の中に置くと、一休の破戒と風狂は新たな意味を持つ。禅宗研究のみならず、室町時代史としても意義深い一冊。



◆心がほっとする ポケット般若心経[新装版]

枡野俊明監修・A6変判・157頁・1,100円〈河出書房新社〉

不安なときも、嬉しいときも、心に寄り添う読むお守り。276文字のお経に凝縮された、この世を生きるための智慧をやさしく解説。人気の禅僧による「心がほっとするヒント」も紹介。



◆ソシュールとインド ——構造主義の源流を求めて

川村悠人著・四六判・238頁・3,080円〈人文書院〉

ソシュールは早熟なサンスクリット語学者でもあった。時を越えて響きあう思想の類似ははたして偶然なのか。インド文学の気鋭が厳密な比較考察で挑む、思想史を塗り替える可能性を秘めた比類なき知的冒険。



帝京大学シルクロード叢書005

◆シルクロードの宗教1

山内和也編・A5判・250頁・3,850円(帝京大学出版会)

シルクロードはヒトやモノだけでなく、文化の交流路でもあった。もちろん宗教もそのひとつである。7世紀に西方で勃興したイスラム教がまたたく間に東方に広がって中央アジアを席卷するまでは、唐の都長安に象徴されるように、仏教やキリスト教、ゾロアスター教、マニ教といった多くの宗教が共存していたのである。



ワードマップ

◆宗教認知科学(CSR)

——認知・心理・進化の視点から宗教を読み解く

藤井修平・中分 遙・白岩祐子・荒川 歩編・四六判・259頁・3,080円(新曜社)

神、儀礼、慰霊といった宗教現象から、予言や陰謀論などの日常的事象まで、認知・心理・進化の視点から捉えなおす宗教認知科学(CSR)。本書は宗教を読み解くための主要な理論と視点、宗教を形づくる要素の2部構成とし、60のキーワードを解説する。



◆グリーフケアとアウトリーチ

——かなしみを受け入れて生きて行くということ

金田諦應・本郷由美子著・四六判・237頁・1,980円(方丈社)

大切な人や身近な存在を亡くし、深い哀しみの中で苦しむ人にどう向き合うべきか。東日本大震災を経験した金田氏と、池田小児童殺傷事件で突然に愛娘を失った本郷氏が、自らの体験を通してグリーフケアの本質を語り合う。



◆アート・オブ・リビング——生きるということ

ティク・ナット・ハン著、池田久代訳・四六判・269頁・2,420円(春秋社)

生とは何か、死とは何か、死後に何が起きるか。我々がいま現に生きているがゆえに気づかない、いのちの真実を透徹した視線で考察。八身説という独自の身体観を展開し、七つの集中瞑想法を開示、恐怖や不安を除き、「マインドフルに生きる技法」の精髓を説いた晩年の洞察の高み。



大活字版岩波文庫緑76-3

◆**銀河鉄道の夜**——他十四篇 宮沢賢治作、谷川徹三編
A5判・401頁・4,180円〈岩波書店〉

大活字版岩波文庫青323-1

◆**日本の靈性** 鈴木大拙著・A5判・276頁・3,190円〈岩波書店〉



大活字版岩波文庫青202-1

◆**論語** 金谷 治訳注・A5判・406頁・4,180円〈岩波書店〉

大活字版岩波文庫青164-1

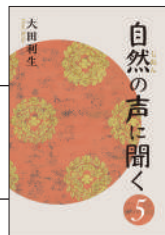
◆**忘れられた日本人** 宮本常一著・A5判・334頁・3,410円〈岩波書店〉

大活字版岩波文庫青119-3

◆**代表的日本人** 内村鑑三著、鈴木範久翻訳
A5判・208頁・2,860円〈岩波書店〉

大活字版岩波文庫青318-2

◆**歎異抄** 金子大榮校注・A5判・94頁・1,980円〈岩波書店〉



◆**自然の声に聞く 5**
大田利生著・B6判・27頁・165円〈自照社〉

◆**FINE**——聞いてみたら想像以上に
人それぞれだったジェンダーとかの話
レア・ユーイング著、齋藤慎子訳・B5変判・319頁・3,520円〈みすず書房〉

◆**「全国部落調査」出版差止め裁判**
——3152日の記録

部落解放同盟中央本部編・A5判・363頁・3,300円〈解放出版社〉

地方史はおもしろい08

◆**ここまでわかった京都の歴史**

地方史研究協議会編・新書判・271頁・1,815円〈文学通信〉



◆**歴史手帳 2026年版**

吉川弘文館編集部編・A6判・180頁・1,430円〈吉川弘文館〉



教化センター紀要

◆**生命の足音 41号**

大阪教区教化センター編・A5判・76頁・1,100円〈大阪教区教化センター〉

特集1 法藏館2025年新刊一覽

刊行月	書名	著者名	価格(税込)	注文数
1月	浄土教の展開【法藏館文庫】	石田瑞磨著 梯 信暁解説	1,650円	
	法華とは何か—『法華遊意』を読む【法藏館文庫】	菅野博史	1,980円	
	近世日本の国家権力と宗教【法藏館文庫】	高埜利彦	1,760円	
	密教図像 43	密教図像学会編	3,080円	
2月	教行信証の哲学【法藏館文庫】	武内義範著 石田慶和・岩田文昭解説	1,210円	
	実学思想の系譜【法藏館文庫】	源 了圓著 大川 真解説	1,540円	
	マヌ法典—ヒンドゥー教世界の原型【法藏館文庫】	渡瀬信之	1,210円	
	大久保良峻先生古稀記念論集 天台学と諸思想	大久保良峻先生 古稀記念論集刊行会編	14,300円	
	荷澤神會研究 —神會の生涯・著作・思想とその史的意義	伊吹 敦	13,200円	
3月	谷口雅春とその時代【法藏館文庫】	小野泰博著 島藺 進解説	1,650円	
	魏晉清談集—『世説新語』を中心として【法藏館文庫】	吉川忠夫	1,650円	
	日本古代中世の社会と宗教	宮崎健司編	8,800円	
	華嚴教学の形成と展開	櫻井 唯	8,800円	
	ファッションと東アジアの近代	劉 建輝・西村真彦・森岡優紀編	3,850円	
	文化財の誕生—寺宝の整理と継承の歴史的変遷	田中直子	9,350円	
	道宣と南山律学の形成—律宗がはじまるとき	戸次顕彰	7,700円	
	全編解説 浄土論註 —社会環境による苦悩解決への道	菱木政晴	13,200円	
	比婆荒神神楽の社会史—歴史のなかの神楽太夫	鈴木昴太	7,700円	
	相模大山御師の「行動文化」と身分 〈佛教大学研究叢書50〉	飯田隆夫	10,230円	
	奈良・平安彫刻の文化史的研究	井上一稔	24,200円	
	史学の近代中国 —顧頡剛と胡適・傅斯年 的思想と行動	竹元規人	11,000円	
	仏教・イスラーム・キリスト教—祈りと思想の共鳴 〈龍谷大学仏教文化研究叢書54〉	嵩 満也・佐野東生編	4,400円	
	道元禅師のことは「修証義」入門【法藏館文庫】	有福孝岳	1,210円	
	能に憑かれた権力者【法藏館文庫】 —秀吉能楽愛好日記	天野文雄	1,650円	
4月	近代日本の仏教思想と〈信仰〉	呉 佩遥	3,300円	
	中論講義 下	立川武蔵	3,850円	
	大乘仏教がひらいた 妙好人の世界	菊藤明道	4,950円	
	清水寺 成就院日記 第九巻	清水寺史編纂委員会編	9,900円	
	貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究 —「別要」教理篇・中1〈龍谷大学仏教文化研究叢書55〉	楠 淳澄編	19,800円	
	森田眞円先生古稀記念論集 真宗の教学と実践	森田眞円先生 古稀記念論集刊行会編	7,700円	

刊行月	書 名	著 者 名	価格(税込)	注文数
4月	光定撰『伝述一心戒文』の基礎的研究	大久保良峻・川尻秋生編著	9,900円	
	相国寺史 第四巻 史料編 近世近現代	相国寺史編纂委員会編 原田正俊・伊藤真昭監修	9,900円	
	『教行信証』全訳と註釈 上巻	長野量一	3,300円	
	モンパとブロクバの衣装民族誌 —アルナーチャル・ブラデーシュ西部、ブータン東部、チベット南部	脇田道子著 ティモテウス・アドゥリヤヌス(ティム)ポット寄稿	3,630円	
5月	鎌倉仏教の中世【法蔵館文庫】	平 雅行	1,320円	
	「あて字」の日本語史【法蔵館文庫】	田島 優	1,430円	
	曠野から—アフリカで考える【法蔵館文庫】	川田順造著 柴田 翔・四方田犬彦解説	1,430円	
	仁左衛門花実抄	宮辻政夫	2,750円	
	ストレスに効く 仏教の話	本間大智	1,650円	
	統一教会・現役二世信者たちの声—壁の向こうの言葉を聴く	瓜生 崇	1,980円	
	近代仏教儀礼論序説	武井謙悟	6,050円	
	森岡清美の宗教社会学—その検証と継承	大谷栄一・寺田喜朗編	3,520円	
6月	改訂 正倉院文書入門【法蔵館文庫】	栄原永遠男	1,540円	
	現代語訳 六要鈔【法蔵館文庫】	柳瀬彰弘	1,650円	
	宙空に立つ塔—塔の想像力と存立地平【法蔵館文庫】	本間邦雄	1,540円	
	目からウロコの仏教入門	ケネス・タナカ著 鴻野立明・菅原 建訳	2,200円	
	八坂神社日誌 第一巻 祇園社務家日記(慶応四年(明治元年)) 社務所所日誌1(慶応四年(明治元年)～明治三年)	八坂神社文書編纂委員会編	9,900円	
	この道は、いつかゆく道—浄土への感性	清基秀紀	1,430円	
	評伝・富田敦純	星野英紀	1,320円	
7月	増訂 京都地藏盆の歴史【法蔵館文庫】	村上紀夫	1,320円	
	きもの【法蔵館文庫】	瀬川清子著 畑中章宏解説	1,540円	
	女の信心—妻が出家した時代【法蔵館文庫】	勝浦令子	1,540円	
	禅者としての鈴木大拙	塚崎直樹	2,860円	
	幡谷明講話集 第6巻 浄土論註講義 下	幡谷 明	4,400円	
8月	女の力—古代の女性と仏教【法蔵館文庫】	西口順子	1,430円	
	語られた親鸞【法蔵館文庫】	塩谷菊美	1,430円	
	承香殿の女御 —復原された源氏物語の世界【法蔵館文庫】	角田文衛著 上原作和著	1,210円	
	増訂 日本占領と宗教改革	岡崎匡史	8,250円	
	比叡山延暦寺僧墓総覧 全3巻	小川善明	93,500円	
	日本浄土思想の歴史—円仁・源信・法然・親鸞	四夷法顕	2,200円	
	従容録に学ぶ—深く生きるための100の禅ものがたり	椎名宏雄	2,750円	

刊行月	書名	著者名	価格(税込)	注文数
9月	催眠術の日本近代【法蔵館文庫】	一柳廣孝	1,210円	
	真言密教の精髓【法蔵館文庫】	那須政隆著 福田亮成解説	1,210円	
	極楽浄土の起源【法蔵館文庫】 —祖型としてのターク・イ・ブスターン洞	杉山二郎著 入澤 崇解説	1,430円	
	戦国末期三河・尾張の戦乱と水野信元	砂川 博	8,800円	
	インド仏教における「二つの真理」 —ジュニャーナガルバ著『二諦分別論』の和訳	赤羽 律著 西山 亮・林 玄海編	4,950円	
	ウェルディング(死への旅路)の臨床社会学 —生老病死と宗教	櫻井義秀・横山聖美編	4,950円	
	続高僧伝とアジアの仏教文化 —名取新宮寺一切経本の調査から	齋藤智寛・ 新宮寺本『続高僧伝』研究会編	4,950円	
	改訂版 親鸞の成仏道—「証」の二重性と「真実証」	小川一乗	6,600円	
	蓮如教団論	金龍 静	15,400円	
	独語集【校訂版】	蜂屋賢喜代	1,100円	
10月	安芸厳島社【法蔵館文庫】	松岡久人著 秋山伸隆解説	1,540円	
	千のことは、一つのころ—薬師寺と土がつなく縁	加藤朝胤	1,650円	
	生きる ただ生きる それでよし	大塚日正	1,650円	
	唐代宗教思想史研究	坂内榮夫	8,800円	
11月	三木清「親鸞」【法蔵館文庫】	岩田文昭編	1,320円	
	原典訳 マハーバーラタ 1【法蔵館文庫】	上村勝彦訳	1,980円	
	般若心経の思想史【法蔵館文庫】	立川武蔵	1,430円	
	その悩み、哲学者とお坊さんはこう答える	小川仁志・大來尚順著	1,650円	
	なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか —仏教のヨコ道ウラ話	石井公成	1,650円	
	シリーズ仏典をひらく 新装版 教行信証 上	桐溪順忍	2,530円	
	原始天台教学の研究—章安灌頂の思想推求	日比宣仁	8,800円	
	認知宗教学から見る現代宗教	井上順孝	3,850円	
	日本人の阿弥陀信仰【法蔵館文庫】	伊藤唯眞	1,540円	
12月	原典訳 マハーバーラタ 2【法蔵館文庫】	上村勝彦訳	1,980円	
	『歎異抄』成立の謎	塩谷菊美	3,300円	
	仏教伝来—朝鮮仏教史への入門	福士慈稔	1,430円	
	シリーズ仏典をひらく 新装版 教行信証 中	桐溪順忍	2,530円	
	ザ・グレイトブッド・シンポジウム論集第22号 論集 東大寺東南院と南都仏教の展開	GBS実行委員会編	2,200円	
	神楽の文化史	鈴木正崇	4,950円	
	般若心経秘鍵の研究	米田弘仁	15,950円	
	柳田国男と大正期の神道	渡 勇輝	3,850円	
	声明理論の形成過程—平安・鎌倉期を中心に	澤田篤子	11,000円	

特集2

2025年 各受賞書籍のご紹介

祝
受賞!

春本龍彬先生 令和6年度 浄土宗学術賞 受賞!

『選択集の成立と展開—廬山寺本を中心に』

A5判・926頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6073-6

原田信之先生 第四回 説話・伝承学会賞 受賞!

『岡山県新見の伝説—玄賓僧都・後醍醐天皇・金壳吉次・人柱』

A5判・232頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6284-6

柴 佳世乃先生 第42回 田邊尚雄賞 受賞!

『仏教儀礼の音曲とことば—中世の〈声〉を聴く』

A5判・784頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6283-9

井上一稔先生 第37回 國華賞 受賞!

『奈良・平安彫刻の文化史的研究』

A5判・860頁・24,200円・ISBN:978-4-8318-6334-8

鈴木昂太先生 第47回 サントリー学芸賞 受賞!

第34回 日本山岳修験学芸賞 受賞!

『比婆荒神神楽の社会史—歴史のなかの神楽太夫』

A5判・496頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-6292-1

菅野博史先生 第1回 日本印度学仏教学会賞 受賞!

『中国仏教の經典解釈と思想研究』

A5判・522頁・13,750円・ISBN:978-4-8318-7094-0

原口志津子先生 第34回 坂本日深学術賞 受賞!

『本法寺藏法華經曼荼羅図—法華經をめぐるイメージの世界』

B4判・240頁・38,500円・ISBN:978-4-8318-6382-9

バク・ヘンソ

朴 海仙先生 第19回 日本思想史学会奨励賞 受賞!

第11回 中村元東方学術奨励賞 受賞!

『植民地朝鮮の予言と民衆宗教』

四六判・256頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5586-2

特集3 マハーバーラタを10倍

法蔵館文庫から『原典訳マハーバーラタ』が、11月から毎月1冊全8巻までの刊行を予定しております。古代インドに産声を上げ、いまなお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊！ 長編を読破するための、「お手伝い本」をご紹介します。

◆マハーバーラタ入門——インド神話の世界

沖田瑞穂著・四六判・218頁・1,980円〈勉誠出版〉

神話・教説・哲学が織り込まれた古代インド叙事詩『マハーバーラタ』。18巻・十万詩節からなるヒンドゥー教の聖典を1冊にまとめた画期的入門書!! 英雄・アルジュナ、宿敵・カルナ、ヴィシュヌの化身・クリシュナ、絶世の美女・ドラウパディー……。神々・英雄たちが活躍する今話題の『マハーバーラタ』が一冊で丸わかり!

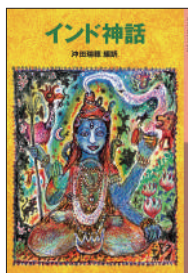


【岩波文庫 赤67-1】

◆マハーバーラタ ナラ王物語

——ダマヤンティー姫の数奇な生涯
鎧 淳訳・文庫判・197頁・550円〈岩波書店〉

ダマヤンティー姫は婿選びの式でかねて恋こがれていた貴公子ナラ王を夫に選ぶが幸せの日々は短かった。嫉妬に狂う魔神カリ王にとりつかれたナラ王は狂気のように賭けつづけ、ついには王国までも失ってしまうのである。古代インドの長篇叙事詩『マハーバーラタ』中もっとも美しい愛の物語の原典訳。



【岩波少年文庫253】

◆インド神話

沖田瑞穂編訳・B6変判・299頁・902円〈岩波書店〉

原初の海にたどよう黄金の卵から世界が生まれ、悪魔と神々が協力して乳の海から不死の飲み物を生み出す。シヴァやインドラたちが束になってもかなわない悪魔の軍勢を打ち負かす女神たち。ふしぎな力を操る聖仙たち。ヴェーダ神話やヒンドゥー教の、ゆたかな神話の世界を原典から語り下ろす。世界のさまざまな神話への扉となる解説付き。



【ちくま学芸文庫マ-14-14】

◆インド神話——マハーバーラタの神々

上村勝彦著・文庫判・352頁・1,430円〈筑摩書房〉

悠久の時間と広大な自然に育まれたインド神話の世界を原典から平易に再現した紹介書。ヴェーダ聖典中の神々と神話から始まり、大叙事詩『マハーバーラタ』を中心として重要な神話を選び出し、他の伝承と比較することにより、有名なインド神話を可能な限り網羅した。最も崇拜を集めるクリシュナの偉業に関する伝説などを含む。

楽しく読むために

◆ギターとブラフマン

真下尊吉著・A5判・273頁・3,080円〈東方出版(大阪)〉

日本人のための「バガヴァッド・ギター入門」「ブラフマストトラ入門」「サーンキヤカーリカー入門(続)」。ヨーガとインド思想のより良い理解のために、選び出した各詩句の邦訳・サンスクリット原文と読み・語釈・解説により詳細に示す。



【ちくま学芸文庫カ3-2】

◆インドの思想

川崎信定著・文庫判・236頁・1,100円〈筑摩書房〉

国名「インド」の由来やインダス文明の興隆から説き起こし、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、『マハーバーラタ』と『ラーマヤナ』の二大叙事詩、論理学など、インドを特徴づける主要な思想のエッセンスを、仏教・インド哲学研究の泰斗が解説する。



◆ラフカディオ・ハーン——源郷としてのインド

前田専學著・A5判・307頁・5,170円〈春秋社〉

現在の、朝ドラ「ばけげん」のモデルでインド哲学の第一人者による、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)論。ハーンが仏教やヒンドゥー教に強い関心と深い知識を持っていたことを明らかにする。怪談文学や歴史に注目した従来の研究では見えてこなかった、全く新しいハーンの姿を描き出す。



定期購読のお知らせ

法蔵館文庫

◆原典訳 マハーバーラタ 全8巻 上村勝彦訳・文庫判

古代インドに産声を上げ、いまなお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。

【刊行予定(全8巻)】	1巻 1,980円・496頁 発売中 ISBN:978-4-8318-2712-8	5巻 2,420円・616頁 3月上旬発売 ISBN:978-4-8318-2717-3
	2巻 1,980円・496頁 12/12発売 ISBN:978-4-8318-2714-2	6巻 1,980円・480頁 4月上旬発売 ISBN:978-4-8318-2718-0
	3巻 2,200円・568頁 1/16発売 ISBN:978-4-8318-2715-9	7巻 2,750円・744頁 5月上旬発売 ISBN:978-4-8318-2719-7
	4巻 2,200円・568頁 2月上旬発売 ISBN:978-4-8318-2716-6	8巻 1,430円・256頁 6月上旬発売 ISBN:978-4-8318-2720-3

法蔵館HPの定期購読申込フォームにて定期購読をお申し込んだお客様には、書籍が出来次第、順次お届けいたします。お電話でも承ります。



定期購読申込フォーム



◆◆◆法蔵館書店売行ベスト10(11月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	「わけもわからずに称名念仏しても意味はない」か?	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
3	教行信証化身土巻講義 親鸞の出遇った世界—浄土真宗 V	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
4	蓮如教団論	金龍 静	法蔵館	15,400円
5	続高僧伝とアジアの仏教文化 —名取新宮寺一切経本の調査から	齋藤智寛・ 新宮寺本「続高僧伝」研究会編	法蔵館	4,950円
6	三木清「親鸞」【法蔵館文庫】	岩田文昭編	法蔵館	1,320円
7	日本浄土思想の歴史—円仁・源信・法然・親鸞	四夷法顕	法蔵館	2,200円
8	悲劇の宗政家 前田誠節—臨濟宗妙心寺派の近代史	藤田和敏	法蔵館	1,980円
9	よもやま歴史風土記—琵琶湖水系三都と諸国の「問故知新」	本郷真紹	法蔵館	1,650円
10	帰京後の親鸞—明日にともしびを12 八十五歳の親鸞—信心と夢告	今井雅晴	自照社	1,100円

【メール配信サービスのご案内】

法蔵館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

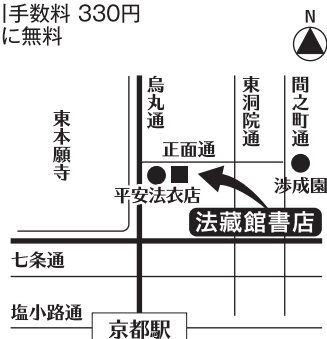
◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

電話受付時間変更のお知らせ

2025年9月1日より、お電話の受付時間を変更させていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご了承賜りますようお願い致します。

9月1日～電話受付時間：平日9時30分～12時、13時～17時



法蔵館書店

住 所：〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話：075-343-0458 FAX:075-371-0458
発行人：西村七兵衛
E-mail:shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土：9:30～18:00
祝 日：10:30～18:00
(休業日：毎週日曜日・お盆・年末年始)

法蔵館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!